

一部、実施時期の変更など、調整をしながら、対象となる皆さんへは事前の周知により対応して参ります。

最後になりますが、特に町民の皆さんの救急車による緊急患者受入れ対応につきましては、不備が生じないよう、万全を期し、対応しなければならぬものと考えます。

このことから当診療所の常勤医師1名体制上、不足する一部救急車対応につきましては当診療所における常勤医師複数体制確保までの間として、新ひだか町の静仁会静内病院に救急受入れ対応の応援協力をいただきながら、町民の皆さんの医療の安心安全を確保して参りたいと考えるものであります。

このため、今定例会における補正予算におきまして救急対応にかかる費用を計上しております。

# 教育長行政報告

## 学校教育の推進について

### 教育委員の活動について

19日に実施しました。  
第1回目に引き続き、ふるさと教育の一環として、今年度転入してきた教職員を中心にレ・コード館や郷土資料館のほか町内の史跡などを巡り、新冠町への理解と今後の学校教育での指導に役立てるための研修を行ないました。

### 認定こども園ド・レ・ミの教育・保育について

「地域に開かれた園経営」を進めているド・レ・ミでは、7月7日、町民グラウンドを会場に3年目の運動会を開催しました。多くの保護者や祖父母、地域の方々が見守る中、0歳児から5歳児まで全ての入園児が元気に活動し、町民グラウンドを会場にした運動会を定着させることができました。

8月には、年長児のお泊まり会と併せ、花火・盆踊り大会を実施し、地域自治会や、あいあい荘からの参加をいただき、多数の来場者のなか、地域との結びつきを深める行事ともなったところでした。

また、開設時から継続している昭和音楽大学による音楽療法の研修会では、園児の発達段階に応じた指導に加え、保育士に対する実技指導も行われ、教育・保育活動の実践的取り組みとなる研修を行ったところです。

9月6日・17日の二日間で、小学校及び認定こども園ド・レ・ミの学校訪問を行い、授業の様子を参観し、学校・園の経営の推進状況について理解を深めるとともに、今年度の教育課程に基づいた取り組みについて指導・助言をしてまいりました。

### 確かな学力の育成について

4月に実施した、全国学力・学習状況調査の結果について道教委から資料が提示されましたので報告します。

今年度は、国語科、算数・数学科の2教科で実施され、新冠町の結果は、小・中学校ともに、全ての教科で、全道平均を下回る結果となりました。

昨年度、ほぼ全道並であった小学校では、今年度、10ポイント以上の差があり、正答数の分布をみると、中位層からやや下位層での片寄りが目立つ結果となっております。

この要因については、現在、分析中でありませんが、いずれにしても今後の学力向上に向け、適切な対応を取るべく進めてまいります。

### 社会教育の推進について

7月から8月にかけての夏季開設中のレ・コード館の一般見学者数は、昨年より2185名多い6828名で前年比47%の増でありました。また、有料見学者は605名増の862名で、前年比42%増となり、入館者が増えている傾向にあります。

また、レ・コード館音楽推進事業として例年実施しております昭和音楽大学による、吹奏楽クリニックは、7月23日、24日に新冠中学校、静内高等学校吹奏楽部の演奏指導を行いました。

「青少年の取り組み」  
放課後子ども教室では現在、新冠小学校区181名、朝日小学校区55名と昨年度より登録人数が増え、好評に実施しております。中でも、6月25日、7月24日の2回日程により特別事業として実施した科学教室では、液体実験やアンモナイトを実際に見て、触り歴史を学ぶ教室行ったほか、7月8日にはアフリカジンバブエの子どもたちと民族音楽ジャングルを通じた交流会、8月2日にはペットボトルを利用したいかだづくりなど、充実した教室を行い好評を得ています。

また、新冠町子ども会育成協議会の事業として例年実施しているバスツアーでは、8月7日室蘭市において、青少年科学館や水族館見学を行い、夏休みの有意義な1日となりました。

研究協議が行われました。

### 豊かな心身の育成について

昨年10月に発覚した新冠小学校におけるいじめについてですが、現時点においても未だ終息していない状況にあります。

いじめの内容は、悪口を言われたり、からかわれたりするというもので、学校としては、いじめの状況が確認されると直ちに指導を行い、一時的には収まりますが、暫くするといじめが繰り返されるという状況にあります。

いじめを行っている児童は、特定の児童であり、授業中の立ち歩きなども見られ、担任教師の指導に従わない状況にあることから、校内サポートチームや、授業を複数で指導するTT体制をとるなど、学校全体で、いじめの解消に継続的に取り組んでいるところであります。

2つ目は、北海道中学校体育大会ですが、陸上女子100mハードル、4×100mリレーに出場し、いずれも、日高大会の記録を上回りましたが、残念ながら予選敗退に終わっております。

また、日胆地区吹奏楽コンクールでは、吹奏楽部が中学校C編成の部において、銀賞となったところです。

さらに、この9月7日には、北海道卓球選手権大会カデットの部に新冠中学校2年生3名が出場しましたが、予選敗退となりました。

### 「高齢者の取り組み」

高齢者大学いきいき大学では、8月2日に、バス研修として、千歳市防災学習交流センター「そなえる」やウトナイ湖野生鳥獣保護センターで研修を行いました。

また、8月27日には、「寄席クラ」として落語や、ピアノ、チェロによる演奏会をレ・コード館で開催いたしました。当日、新冠町社会福祉協議会の協力により200名を超える参加があり、笑いと健康、クラシックによるリラククス効果により成功裏に事業を終了しております。

### 「郷土資料館の取り組み」

本年度より取り組んでいますアイヌ名勝事業は「幌尻岳の申請業務を行っており、6月21日、文化財保護審議委員会が文化庁に向けて、名勝としてふるさわしいとの答申があり、今後、文化庁の官告示にて正式に名勝として指定されるはこびとなっております。



名勝指定申請中の幌尻岳と七つ沼カール

てであります。

夏休み期間中における子どもたちの居場所、スポーツ、体力の向上の場として学校プールを利用できるよう、4台のスクールバスを週3回、運行しました。

プールの利用状況は、新冠小学校プールで532名(1日当たり24名)、朝日小学校プールで373名(1日当たり19名)となっております。

また、社会教育では、7月、10日間の日程で小学1年生40名を対象としたジュニア水泳教室を開催し、初歩の水泳指導を行うとともに、9月8日には、水泳フェスティバルを開催し、今年度の開設を終えたところです。



ジュニア水泳教室の様子

4点目は、教師の指導力と信頼される学校づくりについてです。

今年度、教員の実践的指導力を身に付けるべく、現職教職員研修会を計画しており、第2回目の研修講座を8月

### 「社会体育の取り組み」

8月4日、新冠町体育協会主催による第35回少年野球新冠大会が開催され、新冠野球スポーツ少年団は惜しくも準決勝で敗退しましたが、元氣溢れる好プレーに多くの観客から声援を受けておりました。

### 「図書プラザの取り組み」

7月22日から8月18日まで夏休み特別事業として「星と宇宙のふしぎ特集」と題し、158展の図書資料を特別展示するとともに、宇宙をイメージした展示を行ったほか、8月7日には、郷土資料館と連携し、星空観察会を実施しております。また、工作教室では「万華鏡づくり」と「ミニ七夕かざり」を実施し予想した人員を超える多くの子どもたちの参加があり好評に終了しております。

終わりになりますが、実施5年目になります。教育委員会の業務評価の提出についてであります。

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況などについて、自己評価を行い、その評価内容に基づき各学校の学校評議員や社会教育委員の方々などから外部評価をいただき、議会へ評価報告書を提出させていただきました。